



路 政 僧

▽ △

不快な暗雲裡に鎖されてゐた日支の關係、矢田王正延兩氏の交渉に依つて具體的解決の曙光見ゆ、如何に兩國政府當局だけが睨み合つても、兩國民の文化乃至經濟關係は必然的に睨み合ひ状態の持續を許さない連鎖を有す、

此事が歐米諸國の對支關係と吾國の夫れと異なるところ、其處に又兩國親善の必要が湧起する所以、支那が曲りなりにも國內統一を完成し政府の組織法を制定しても、唇齒輔車の關係に在る、吾の承認を得ずんば東洋に生活出來ない筈、吾にしても歐米各國が支那の生産消費に唾延萬丈なるに、我國だけ孤

立して唯我獨尊的態度を持し得ざる道理、互に相依相扶の關係に鑑み誠意を以て交渉するが可い。

交渉事件解決の進展大袈裟に宣傳さる、迅速な解決固より望むところ、併しながら一年有半に亘る懸案が、假令難駁な程度のものでしても會見四五回にして解決したきは信する能はず、南京漢口濟南の事件は一時的のものにして比較的解決易からむも、通商條約の改定、差等稅率實施問題、治外法權問題、等々恒久性を有する重大難澁な問題が有る筈、之を如何に解決したか解らぬが、通商條約は之を廢棄せむとした支那の暴舉を撤回し、臨時辯法の不適用を言明せしむれば吾も強て反對せざるどころ、差等稅問題にしても

固き吾の提唱したるもの唯だ我國債の整理を措置せしむれば足る、治外法權

の撤廢も亦支那の法治國的行動の如何に依つて決すべきもの、併し是等の要求を支那が容るゝや頗る疑問、まだ暗雲重疊の境に在るものと可評、之を解決する爲には互に面目や形式に捉はれず、實に即して互讓し日支兩國家倍舊の親善を圖るが必要。

軟弱外交で名高い我が外務省に忠告する、要は歐米に立遅れたここに焦慮して我の權益を喪失せざるに在る、忘れてはならぬ。

▽ △

政友會と伯仲の勢力を持した民政黨、曩には床次氏と憲政一新會組に去られ、今又早稻田系議員の脱黨を見む

さす、天下秋なるのさき寂寞を感じるや更に切。

離合集散は政界の常さは云へ、政權を獲得すれば蟻の甘きに就くが如く、之れを失はば脱兎の如き黨人の態、金權に依つて生存する既成政黨の内裏を物語るもの、淺はかにもあり氣の毒にもある、が併し所屬政黨の主義政策に賛して國民が選舉したる者、一方的に

脱黨理由を示して去就するの自由を持たぬ筈、宣言した如く既成政黨に革新の必要乃至非違の存するにせば、脱黨と同時に議員を辭して其の去就を選舉民の意思に問ふべきもの、之を爲さずしての自由行動、選舉民を愚弄欺瞞する破廉恥行爲と可評。

事のこゝに至りし所以、脱黨者の破

廉恥行動に依るに由る、在野最大政黨が缺陷を藏するに由る、在野最大政黨が

國家の最重要時機に直面しながら對支乃至對滿政策に關して意見を發表せず、不戰條約の些末事等に政府の揚げ足取りの小策を弄するのは、國民の等しく覺悟する所、其の採る所の政策に確固不動の主義なく、其の主張も亦旗色鮮明を缺き、國民をして其の存在を

疑はしむ、折角目論んだ倒閣運動も國民の共鳴と同情を得ざるは當然、政治道德第一主義を強調するのも可いが、夫れに先つて黨の採るべき主義政策の建て替へを行ひ黨紀を肅正し、國民の爲にする政治を策するに非ずんば益弱壞を招くや必定、吾は在野強力なる反對黨を失ふなきやを憂ひ、噴火山上に

眠れる民政黨の爲に訓ゆ。

▽ △

積極政策を強調した現内閣、眞面目に豫算を編成する機會を得た、否餘儀なきに至つた、國民に誓約した積極事業の遂行も、夫れを困難ならしむる兩稅委讓、彼方が立てば此方が立たぬ、世の識者を俟つ迄もなく大なる矛盾、之が竝行を聲明したのは、原始不能を藏する不可能事の誓約、見給へ、昭和四年度の豫算を、藏相の査定額と復活承認額を合せて十七億五千萬圓、消極主義を標榜した若槻内閣時代の豫算と相去る僅に三千余萬圓の差、之を以て大に積極政策を行ふと言ふ、國民を愚弄するもの、吾れ斷じて之を不許。
首相は之に對し、今度の豫算は慎ま

しやかで引締つた、と言ふ、豫算を緊縮すること固より可、何人も異論のあろう筈は無い、併し引締ること夫れは當然に政友會の積極政策廢詔の申譯的理由とは爲らぬ、今頃に爲つて此嘆聲を發せしむる所以、政黨の強調する主義乃至政策は出鱈目のものたるを證明す、既成政黨の國民に信を得ざる所以亦茲に存す。

消極論者は之を以て政友會の放漫政策に對する轉迷開悟を喜び、政治家は之を以て政友會政策の豹變を責む、何れも理由が在るにしても無い袖は振れぬが世の常態、之を振る言つたのが誤りであつた、此誤りに附和雷同した民衆も亦間違ひであつた、責むる者責めらる、者何れも皆無定見の致す

所、見給へ、狡猾な政友會は、内閣の運命を賭して迄も豫算上の主張を固執しないを申合す、之を聞いて公憤を感じる者今の世に幾人かある、強て求むれば北海道選出議員の二三に不過、此くして政界のここは騙し騙さる、上手下手に依つて決せらる、唯だ氣の毒なのは地方の諄朴な選舉民だけ、政界を淨化するには選舉民の智能の向上を測つて政黨業者に騙されぬ事に存するが、政界の淨化果して何れの時ぞ噫。

▽ △

筆を擱くとき、産業道路豫算六百五十萬圓は認さると傳へらる、吾人の要求と相去る遠し、憐むべき産業立國。之で國民の希望を容れたと爲すか。